

# 平成24年の春 ゴミ拾い・清掃活動取材しました

自分たちの住むまちをきれいにしようと、今年も春の訪れとともに、各地区町内会をはじめ、学校、各団体の皆さんが、清掃活動を展開しました。「きれいで住みよいまちづくり」への取り組みとしてその活動を紹介します。

4月27日、幾寅婦人会（須藤良志恵会長）の皆さん21名により、本町の観光スポット「幌舞駅」とその周辺の清掃が行われました。  
会員の皆さんは、窓拭きをはじめ、マイマイガの卵の除去、ほうきや脚立を使い駅舎内天井や掲示パネルなど展示コーナーの隅々まで清掃を行ったほか、ぼっぼや号の内部や駅舎周辺の清掃が熱心に行なわれ、きれいな駅舎は利用者や観光に訪れた皆さんを、心地よく迎えています。



北落合地区では、例年春の農作業が本格化するのを前に、北落合連合会（十河和幸会長）の環境美化整備作業と北落合小学校（全児童数6名）の環境美化集会在合同で行なわれています。今年も5月7日に地域と学校が連携し、大人の皆さんと児童と一緒に地区内の長い道のりを歩いて回り、ゴミを拾い集めていました。  
また、交通安全や防犯の啓蒙・啓発の旗も設置され、きれいで安心の環境づくりに取り組みました。



5月7日、幾寅小学校（全児童数99名）では、最初にゴミの分別や現状について町の担当者から説明を受けたあと、全校児童が縦割りの4班に分かれて、ゴミ袋を手に学校の周辺や西町・岐阜町内を回り、道路脇や側溝などに落ちているタバコの吸殻や空き缶などのゴミを元気に拾い集めていました。各班で拾い集めたゴミの量を計測したところ、約56kgあり、児童の皆さんは、自分たちが拾い集めたゴミの量に驚いていました。



5月7日には、下金山小学校（全児童数11名）でボランティア清掃奉仕活動として、全校児童と教職員が3班に分かれて、学校の周辺や国道沿いのゴミを拾いました。  
児童の皆さんは、ゴミ一つひとつを一般ゴミやプラスチックゴミ、不燃ゴミなど分別方法を確認しながら一生懸命拾っていました。児童の感想発表では「ゴミのないきれいな街にしていきたいです」と述べていました。



5月8日、南富良野高等学校（全生徒数63名）では、日頃通学している国道脇や東町・朝日町・千木町などのゴミ拾いを行いました。各学年ごとの9グループに分かれ、ゴミ袋と火バサミを手に巡回し、見慣れた道にも注意してみると意外に多くのゴミがあり、丁寧に拾っていました。



5月8日、金山小学校（全児童数8名）では、校外清掃活動で2班に分かれ、学校の周辺や神社境内、国道沿いなどのごみを拾いました。  
金山ふれあい広場の駐車場には、タバコの吸殻や空き缶がとて多く捨てられており、枯葉を掻き分けながら丁寧に拾っていました。



5月14日、南富良野中学校（全生徒数58名）では、学校のある栄町や幾寅駅前、住吉・仲町周辺を9班に分かれ、道路脇の側溝や空き地駐車場などにあるゴミを熱心に拾い集めていました。



5月10日、幾寅寿倶楽部（加藤哲夫会長）では、地域に感謝の気持ちを込め、3班に分かれ町道幾寅市街地東2丁目線のポテトチップス工場シセラまでの道路沿いや国道沿いのゴミを拾い集めていました。



5月20日、幾寅栄町町内会（伊藤健会長）が町内の清掃活動を行い、道路脇の草刈りやごみ拾い、住宅街に設置されている4つの公園の草取りなど熱心に取り組んでいました。



5月20日、幾寅岐阜町町内会（山内茂樹会長）が町内清掃を行い、参加した皆さんは、ふれあい公園の草取りをはじめ、道路脇の清掃やゴミ拾いなど熱心に取り組んでいました。

